

第2章 水辺・花・色

空中に立ち並ぶ高層ビル、タワーマンション、地下には地下鉄網が張り巡らされている人工都市・東京。しかし、その地上の一隅には堀、わき水の池、水辺や湿地がある。そして、そこには様々な植物が花や実をつけ、季節の移り変わりを告げ、人々の目をひき、心を揺さぶり、癒やしている。

今や国際的な桜の名所となっている都心の千鳥ヶ淵は春到来とともに多くの老若男女が集い、堀の水面にあでやかな姿を映すソメイヨシノに目を奪われ、感嘆の声を投げかける。西方の石神井公園では三宝寺池に睡蓮、カキツバタなどが咲く。国分寺のお鷹の道の湧き水にはカラーも。それぞれが花の命を惜しみなく謳歌している。

花の名は

【千鳥ヶ淵にて…】	川原よし子
【千鳥ヶ淵にて】	川原よし子
【武道館と桜】	川原よし子
【イタリア会館前にて】	川原よし子
【カキツバタ群生】	吉廣紀代子
【池に映える睡蓮】	吉廣紀代子
【紫陽花も負けじと】	吉廣紀代子
【水芭蕉は水辺の女王】	吉廣紀代子
【お鷹の道に咲くアジサイ】	ホソイ
【お鷹の道に咲くシモツケ】	ホソイ

【お鷹の道に咲くビヨウヤナギ】

ホソイ

【お鷹の道に咲くカラー】

ホソイ

千鳥ヶ淵にて…

水へ手をのばすように咲く桜.水面に散る花びらが過ぎてゆく春をひっそりと伝えます.



千鳥ヶ淵にて

ここにも水面にうつる桜色.まるで水の中で桜が咲いているようです.



武道館と桜

4月のある日.この日は折しも学校の入学式が行われていた様子.桜並木の下で、
新入生は何を思っていたのでしょうか…



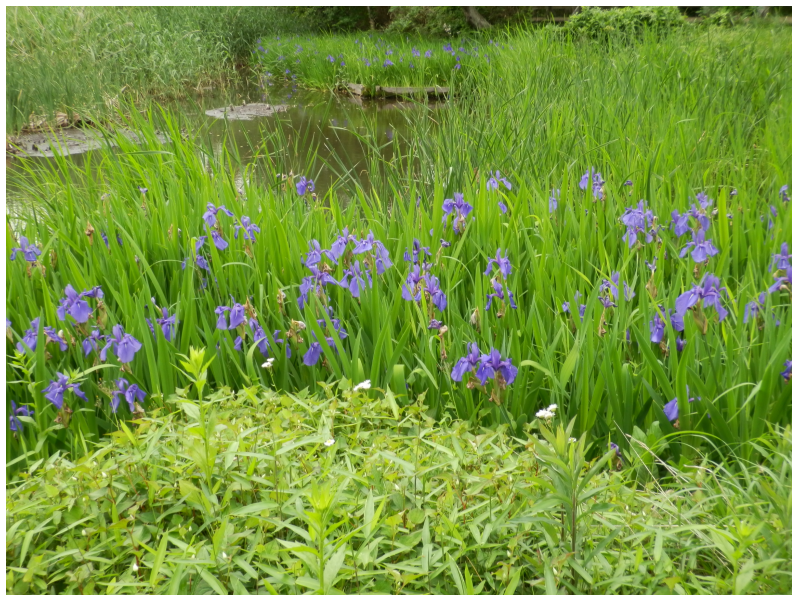
イタリア会館前にて

イタリア会館前の街路樹.ふと見上げると桜のすきまから陽の光.空と桜の色が溶けあう様子を視線がすいよせられていきます.



カキツバタ群生

5月から6月にかけて一気に花を開くカキツバタ。カメラや絵筆を持つ人、池の周辺に集う人々惹きつけている（石神井公園・三宝寺池）



池に映える睡蓮

一気に葉を広げ6月初めその陣地を広げる睡蓮は、絡み合う葉の間から清楚な花を咲かせ池の表情を変えてしまう。(石神井公園・三宝寺池)

